

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ザ・セレクトン東大阪長田東	階数	地上7F
建設地	大阪府東大阪市長田東2丁目	構造	S造
用途地域	防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年6月4日
敷地面積	527㎡	作成者	鈴木充広
建築面積	341㎡	確認日	2020年6月4日
延床面積	2,155㎡	確認者	鈴木充広

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 85% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 85% (138 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 85% (138 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	・建物全体にLEDを採用	その他 特になし
Q1 室内環境	・空気質汚染を回避するための対策計画	Q2 サービス性能 ・空間の自由さを考慮した計画
Q3 室外環境(敷地内)	・植栽の設置	
LR1 エネルギー	・省エネ基準適合	LR2 資源・マテリアル ・一般的な配慮にとどまる
LR3 敷地外環境	・ライフサイクルCO ₂ 排出率を85%に抑えられている	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0041

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)ザ・セレクトン東大阪長田東						
		建設地	大阪府東大阪市長田東2丁目						
		用途/区分	ホテル						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B-		
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					2			
③	建物の断熱性					3			
④	エネルギー削減					3			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				2.6	3		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.9	3		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項		特になし							